

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年10月15日

事業者名: 名古屋技研工業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	省エネ設備を導入し、CO2排出量の削減を行っている		⑫つくる責任 つかう責任, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	令和6年度6%減を達成（令和5年度比）	指標	二酸化炭素の排出量
					目標	2030年度までに2023年度比42%以上の削減を達成
社会	地元小中学校の企業見学受入れ、高校インターンシップ受入れ		⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑪住み続けられるまちづくりを, ④質の高い教育をみんなに	令和6年度 小中学校2校の工場見学、高校3校インターンシップ受入れ	指標	小中学校の工場見学、インターンシップ受入れ
					目標	令和9年までに、3校以上の職業体験を実施
経済	自動検査機の導入、生産実績入力システムの導入で業務の効率化を推進中		⑧働きがいも経済成長も, ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	令和6年度、自動検査機の導入により、一部検査員の夜勤を廃止、時間外労働を35%削減した	指標	生産実績記録のペーパーレス化
					目標	2028年までに、社内の生産実績記録を全てペーパーレス化し、業務の簡素化を図る。
ガバナンス	チェック					
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ 社内会議で進捗状況の把握し、情報の社内共有を実施。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・ SDGsの取組み https://www.nagoyagiken.co.jp/about/csr.html				